

おかやま健康づくりアワード2025（表彰）

日時：令和7年9月30日（火） 13：30～16：00

場所：岡山県医師会館 三木記念ホール

○ 職場部門

応募8社

	会 社 名	授賞理由
1	高山産業株式会社 (岡山市 小売業)	努力義務とされるストレスチェック及び集団分析を継続実施している。 定期健康診断受診率は4年連続100%、要経過観察以上の社員には保健指導を実施し、特定保健指導については勤務中に実施できる環境を整備し実施率向上に努めている。各種がん検診等については、受診に要する時間は勤務扱い、全額会社負担で受診勧奨を行い、2025 年度からは、PSA検査、乳がん・子宮頸がん検診の毎年実施ができるよう内容の充実を図った。 社員に対しヘルスリテラシー向上のため、食事日記記入による健康教育、働く女性の健康課題の改善に向けた健康教育等、各種研修を実施している。
2	国立大学法人 岡山大学 (岡山市 大学)	2011年に「岡山大学における心の健康づくり計画」を策定し、メンタルヘルス向上に向けた取り組みを継続的に推進してきた。2020年度からはストレスチェックの詳細な集団分析を開始し、2021年度には安全衛生推進機構保健管理部門と人事課が連携してメンタルヘルス研修体制を構築。「就業（業務遂行）レベルの復職プログラム」を導入し、成果が得られた。
3	大和酸素株式会社 (岡山市 製造業)	運動の習慣化率向上対策として、就業時間認定のストレッチ教室、社内イベント「歩数チャレンジ」の実施、腰痛予防セミナーの開催等を実施している。 禁煙対策として、禁煙外来費用の補助、非喫煙者への健康手当の支給等を実施。 健康診断の実施及び充実を図り、定期健康診断 100%受診、婦人科がん検診、胃がん検診、便潜血検査の費用補助と骨密度測定費用の全額負担、オプション検査費用の補助等を実施している。
4	ローム・ワコー株式会社 (笠岡市 製造業)	「非運動習慣者率（1ヶ月のうち、全く運動しない人の割合）の低減」を掲げ、毎朝、全従業員体操の実施、毎年継続してウォーキングイベント「歩こう会」を開催して、健康意識とコミュニケーション向上を図っている。社内で健康づくりアンケートを年3回実施し、非運動習慣者率のモニタリングを行っており、モニタリング開始時より10%以上低減させることができた。 構内では喫煙禁止となっており、社内で健康づくりアンケートを年3回実施し、喫煙率をモニタリングしており、1ヶ月の内にほとんどもしくは全く吸わないと回答した人の割合は約8割を維持している。 こころと身体の健康づくり講習会を社内に外部講師を招いて実施している。
5	人形峠原子力産業株式会社 (鏡野町 ビルメンテナンス業)	2021年から毎年定期的に体力測定を実施してる。社員の高齢化が著しく進み、筋力の低下等による転倒・墜落・転落などのリスクが高まっているため、自身の体力を把握させることで、これらのリスクを回避するための施策としている。 鏡野町や、美作保健所と連携をして、健康チャレンジや健康教室を実施している。 2021年度よりワーキングを設置し、社員の健康増進を図ることを目的に年3回程度の頻度で健康新聞を発行している。

○ 地域部門

応募6団体

	団 体 名	授賞理由
1	健康市民おかやま21 中央地域推進委員会	健康課題に基づいて、食事バランスチェックやみそ汁塩分測定、BMIチェック等を小中学校区単位においてイベントや健康講座で実施。また、大学生と野菜摂取できる地域づくりを進めるためのマップを作成し、世代間交流を通じた食育活動も実施している。 各中学校区にて地域の魅力発見や特徴を活かしたウォーキング大会を実施。地域住民からは、地域を知らながら健康づくりに取り組めると好評である。ウォーキング大会は子どもや子育て世代等の参加もあり、3世代交流の場となっている。
2	新見市愛育委員会	「世界禁煙デー」に合わせて、市内の高校において街頭キャンペーンを行っている。 「口の中の健康づくりをすすめます」を重点活動に掲げ、子どもから高齢者まで、生涯を通じた口の健康について、積極的に普及啓発を行っている。成人や高齢者には、新見地域医療ネットワーク作成・監修のリーフレットや啓発グッズを活用し、「あいうべ体操」の普及啓発を行い、歯周病予防や誤嚥性肺炎予防、口腔機能の向上を呼びかけた。 HbA1c 高値者および糖尿病の患者が多い現状があり、糖尿病の予防および早期発見のために、家庭訪問等により健診受診勧奨を行っている。
3	真庭市	市民の健康づくりと幸せづくりを応援するため、真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」アプリのプラットフォームを活用した健康管理機能の仕組みを導入している。アプリ上で朝食摂取、体重測定記録、血圧測定記録、歩数が数値やグラフで見えるだけでなく、指定の基準を満たすことで、1ポイント＝1円として使える「まにいポイント」が自動的に付与される。また、疾病の早期発見・重症化予防につなげるため、指定の健（検）診の受診について受診した結果をスマートフォンで写真を撮り二次元コードから申請をすることで、まにこいんアプリに「まにいポイント」が付与される。 貯まったポイントは、市内の加盟店で利用でき、市民の健幸づくりを後押しする仕組みとして地域に根付きはじめている。